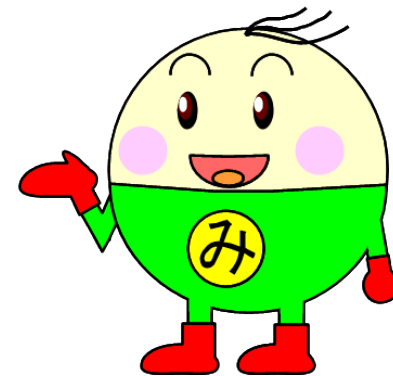


障害者支援施設 デジタル技術等 活用支援モデル事業 事例報告(ロボット)



社会福祉法人 からし種の会
障がい者支援施設 緑の牧場学園



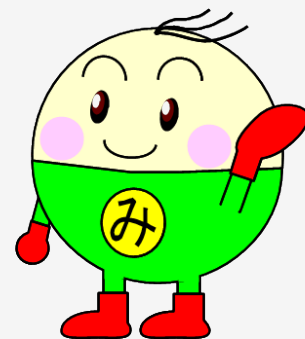
緑の牧場学園マスコットキャラクター
「みどりっち」

緑の牧場学園 沿革

令和4年2月現在

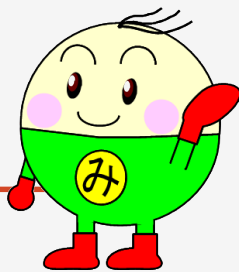
- 1988年 3月 「社会福祉法人からし種の会」法人認可
5月 知的障害者更生施設「緑の牧場学園」開園（定員40名）
- 1994年 4月 緑の牧場学園の定員52名に増員
緑の牧場学園のショートステイ事業開始
- 2000年 2月 グループホーム「秋桜寮」新設（定員4名）
- 2009年 4月 グループホーム「こまくさ寮」開設（定員7名）
12月 グループホーム「ひまわり寮」開設（定員5名）
- 2012年 8月 グループホーム「秋桜寮」移設（定員2名増員）
- 2013年 4月 緑の牧場学園相談支援事業所（特定・障害児）開設
- 2015年 3月 緑の牧場学園の新作業棟新設
- 2016年 5月 グループホーム「しおなだ」開設（佐久市指定管理 定員6名）
10月 緑の牧場学園の新居住棟新設

法人の概要などについてはこちら
<https://karashi.recruitment-info.jp/>



緑の牧場学園 概要

令和4年 2月現在



1 定員 生活介護 55名 施設入所支援 50名 短期入所 2名

2 年齢

	10～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80～ 89歳	合計	平均年齢
男性	1	0	1	6	21	2	1	0	32	52.2
女性	0	0	0	3	12	0	2	1	18	56.4
合計	1	0	1	9	33	2	3	1	50	53.7

3 障害支援区分

	3	4	5	6	合計	平均区分
男性	0	2	1	29	32	5.8
女性	0	0	3	15	18	5.8
合計	0	2	4	44	50	5.8

事故防止対策が課題（事故報告より）



	転倒	怪我・痣	器物破損	薬	仲間との トラブル	その他	合計
令和2年度	85	75	28	14	27	8	237件
割合	35.9	31.6	11.8	5.9	11.4	3.4	100%
令和元年度	61	64	21	15	44	9	214件

課題と導入機器（職員へのアンケート（①3.5.12 ②3.5.27））

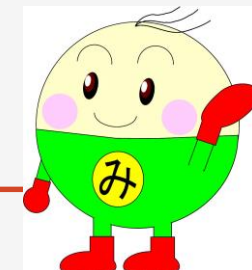


- 1 業務のなかで困っていることは(こんなことができれば利用者さん、職員の安全・安心につながる)・・・
- ・夜勤帯の把握・職員間の意思疎通・清掃業務・排尿のタイミング・腰痛予防のための移乗サポート(アシストスーツ)・癒し(セラピー)、コミュニケーションロボット・見守り(危険な時知らせしてくれる、立ち上がりや居室を出たことが分かる、行動把握、睡眠状況の把握)・服薬管理(誤薬防止)・換気できる空調・歩行や移動支援ができるもの

- 2 介護ロボット導入を希望する機器は・・・

排泄支援	移乗支援 (アシストスーツ)	見守り支援	移乗介護	服薬支援	タブレット 端末	コミュニケーション	移動支援
60%	40%	34%	20%	8%	8%	8%	3%

導入機器Ⅰ ラップポン・エール2（日本セイフティー株式会社）



（良い点）

- 居室でゆっくりできる。
- 排泄支援に要する誘導等の時間が短縮された。
- 居室内の臭いや後処理が容易になった。

（悪い点）

- ×着座する際に配慮が必要である。
- ×フィルムカセット（約60回）、凝固剤の消耗品費用がかかる。
- ×機械音が大きい。
- ×使用できる人が限定的になる。

導入機器Ⅱ マッスルスーツ Every (株式会社イノフィス)



(良い点)

- 腰痛予防、体の負担が減る。
- 重いものが持ちやすい。
- 上下に持ち上げるには楽になる。
- 装着方法に慣れ始め、機能をしっかり活かせるようになった。
- 利用者さんを起こす場面では便利。

(悪い点)

- ×脱着の都度時間がかかる(面倒)。
- ×可動域が少なく、寝ている人を持ち上げるのは難しい。
- ×動きづらい(邪魔)。
- ×装着手順を忘れてしまう。



導入機器Ⅲ エイアイビューライフ（エイアイビューライフ株式会社）

**お部屋全体を「見える化」
接触率の低減でリスク回避！**
人から人への感染リスクをコントロールします。

危険状態の 検知・緊急通知

モバイル端末やナースコールへの通知が可能。施設環境を活用した通知が行えます。



危険予兆 動作の検知・予測

広角IRセンサーにより居室エリアやベッド周りでの危険予兆動作を検知。室内全体を「見える化」します。



生体異常状態の 検知・緊急通知

非接触生体センサーがベッド上の生体情報を3段階表示。生体反応が無い場合最優先レベルで通知します。



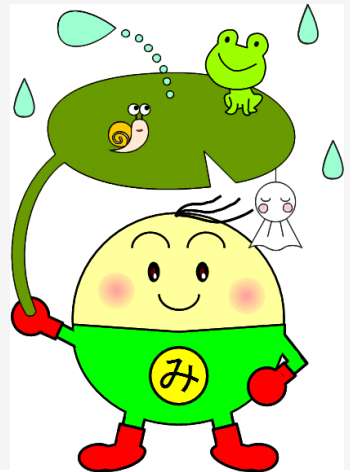
導入機器Ⅲ エイアイビューライフ（エイアイビューライフ株式会社）

（良い点）

- プライバシーに配慮しながら見守りができる。
- 通知や映像を見て、すぐ対応することができる。
- 居室全体の細かい動作検知ができる。居室で過ごしている利用者さんを遠隔で見守ることができる。
- 訪室しなくても利用者の状態が分かれば睡眠の妨げにならない。
- 転倒防止、事故発生時の状況把握、検証ができる。

（悪い点）

- ×誤作動、人でなく物にも感知する。反応し過ぎてしまう。
- ×実際の確認が必要である。
- ×誤差が生じる。早い動きにワンテンポ遅れる。



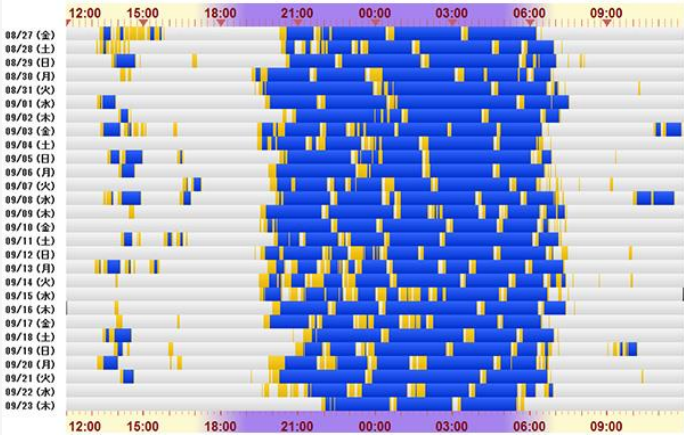
導入機器Ⅳ 眠りSCAN (パラマウントベッド株式会社)



呼吸日誌



サービス改善後の睡眠日誌



導入機器Ⅳ 眠りSCAN（パラマウントベッド株式会社）

（良い点）

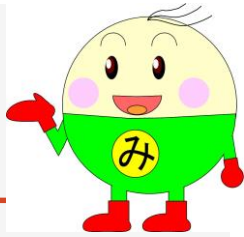
- 不必要な訪室が減る。訪室により起こしてしまうことが減る。
- 利用者の睡眠状態が把握でき、眠剤の使用にも役立てられる。
- 排泄支援のタイミングが分かる。
- 心拍数、呼吸数が確認できる。

（悪い点）

- × 誤作動、不具合が生じることがある。
- × 検知通知とのずれがあり、利用者さんの動きとのタイムラグが生じる。
- × 排泄支援がマニュアル通りにいかなくなる。



導入機器 V 眠りSCAN eye (パラマウントベッド株式会社)



(良い点)

- 訪室しなくても遠隔で利用者の状況が確認できる。
- 転倒等、事故原因の究明に使える。
- 睡眠状態を確認でき、てんかん発作のある方にすぐに対応できる。
- 安心して見守ることができる。

(悪い点)

- × 反応に誤差が生じる。
- × プライバシーへの配慮が必要。
 - ⇒ ①使用の同意
 - ②運用のルール
 - ③ルールを守る体制作り

導入機器VI 多機能Wi-Fiインカム（株式会社ティービーアイ）



※本施設独自の導入



「眠りSCAN」
システム



「クリアトークカム」
システム



導入機器VI 多機能Wi-Fiインカム（株式会社ティービーアイ）

（良い点）

- その場でどこでも情報交換、連携が気軽にスムーズにできる。
- 職員が移動せずに利用者を誘導できる。
- 眠りSCANとの連携による通知機能がある。
- 緊急時等、助けを呼べる。状況確認にも役立つ。
- 効率的に時間を使える。適切に支援が行える。
- どこでも報告・連絡・相談ができる。

（悪い点）

- ×電波状態が良くない場所がある。（場所によって聞こえない）
- ×周囲の音が気になる。
- ×同時に聞けない。
- ×機械の不具合。
- ×バッテリーの持ちが悪い。
- ×機器の線が支援の妨げになる。



導入して得られたもの

- ①介護ロボット、ICT機器の使用を実感・体感できたこと
- ②支援、及び業務の見直し
- ③利用者さんのプライバシー保護に対する職員の意識の再確認



①介護ロボット、ICT機器の使用を実感・体感できたこと

- ・先ずは使ってみる。
- ・若い職員が多く、機器利用への抵抗感がなかった。一方で、古参職員には介護ロボット、ICT機器使用がなくても支援や業務行ってきた実績（拘り）があるが故の抵抗感。端末機器等使用の不慣れ。新しいことに取り組む煩わしさ。
- ・利用者さん、職員にとって介護ロボット、ICT機器を活用しての効果を検証する。職員を巻き込みながら、実体験、成功体験を重ねる。



②支援、及び業務の見直し

- ・支援、及び業務の場面のなかで介護ロボット、ICT機器を使用できる場面をフォーカスする。定着化に向けて使用場面を限定した。
- ・利用者さん、職員にとって介護ロボット、ICT機器使用を活用していく意味を理解する。スピードよりも利用者さん、職員にとっての安心・安全を最優先に考える。
- ・対人援助はマンパワー。自立を目指した支援を基本にしながら利用者さん、職員双方にとってのメリットや効果を考える。



③利用者さんのプライバシー保護に対する職員の意識の再確認

- ・職員への検証アンケートを通して、プライバシーへの配慮の意見が多かった。(職員のプライバシー意識を再確認)
- ・利用者、保護者及びご家族にとっての安心・安全を目指す。
- ・規程の策定、規程に沿った運用、利用者さん、保護者及びご家族の同意をいただくことで、利用者さんのプライバシーの保護につなげていく。





導入後も検証や相談に応じていただいた東京都様、及びシード・プランニング様に感謝します。



ご清聴ありがとうございました

当法人に関するご質問・お問い合わせ

電話 0267-58-2244

ホームページ

緑の牧場学園

検索



左のQRコードを読み取って頂ければ、
携帯電話でも学園のサイトをご覧いただくことができます

